



北海道がんセンターの高橋
将人副院長

2013年の北海道のがん登録によると、この1年間の男性乳がんの罹患者は29人、死亡者は3人。女性に比べると極めて少ない。

北海道がんセンター（札幌）の高橋将人副院長（乳腺外科）

乳がん全体の0.5%

は「男性乳がんは乳がん全体の

0・5%程度、50～70代に多い

といわれています。数が極めて

少なく、患者さんへの情報も少

ない」と話す。同センターで、

男性乳がんと新たに診断され、

治療を受ける患者は年間数人程

度という。

では、どんな男性が気をつけ

たらいのだろうか。高橋さ

んによると、乳輪の下にしこり

ができる「女性化乳房」は多く

の場合、良性で治療の必要はないが、この一部に乳がんが含まれていることがあるという。女性化乳房は、薬剤などが原因で高齢者にも起きることがある。「しこりを見つけたら乳腺専門医の受診」と呼びかけている。

また、高橋さんは「『遺伝性

乳がん卵巣がん症候群』と診断

された人は男性でも乳がんが発

症する可能性がある」と指摘す

る。「血縁者に乳がんや卵巣がんが多い場合には要注意。必要なならば、遺伝カウンセリングが受けられる医療機関に相談を」と助言している。